

平成30年10月15日

箕輪町議会議長 木村英雄様

箕輪町議会総務産業常任委員会  
委員長 中澤清明



箕輪町議会（委員・議員）派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	総務産業常任委員会研修視察
研修の期間	平成30年10月3日（水）～4日（木）
研修の場所	新潟県十日町市、福島県下郷町
成果 （具体的に）	<p>○新潟県十日町市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち全体のアート化と回遊性の創出による賑わいづくり 人口減少、過疎化が進む越後妻有地域にあって、空き家・廃校・耕作放棄地などを活用した大地の芸術祭を創設し、町の賑わいづくりや都市交流など地域振興に取り組んだ経過と現状を視察した</li> <li>・大地の芸術祭は3年に1度の開催で今回は50万人の入客、これまでの累積経済効果は420億円。住民の75%が効果あり、経営者の84%が売り上げ増としていて、地域にも認められた事業となっている。</li> <li>・本事業を通じて都会の若者との交流も進み、地域おこし協力隊の移住実績も30人を超え、移住定住促進にも効果をあげている。</li> </ul> <p>○福島県下郷町</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会が主導し、町が支援した「しもごろーカード」の取組状況について視察した。</li> <li>・前のカードからの更新は28年度に国のまちなか活性化支援事業補助金（2/3）を受けて行い、ICポイントカードにし、行政が付与するポイントの増大を図った。</li> <li>・町長、商工会町からは行政に支援が大事との説明があった。</li> </ul>
委員会名	総務産業常任委員会
派遣議員名	中澤清明、伊藤隆、下原甲子人、小島常男、浦野正雄、荻原省三

以上

(別紙) 各委員の感想など

○新潟県十日町市

- ・過疎化が進む地域に3年に1度ではあるが、50万人を超える人が訪れ、地方創生と交流人口の拡大には大いに役立っている。しかし、新潟県高田市出身のアートディレクター北川フラム氏や平山前新潟県知事がいたからこそできたことで、どこでもできるものでないという印象を受けた。
- ・760K㎡にも及ぶ里山の中に、380もの世界各国のアーティストの作品が点在する規模の大きさに驚いた。
- ・豊かな自然を使っての大地の芸術祭、アイデアが良いと思う。来客の増加と経済効果が大きいのは素晴らしいが、移住定住にもっとつながればさらに良いと感じた。
- ・3年に1度の開催であるが、買いを重ねる毎に来訪者が増加していることに感心した。関係者の努力の賜物と敬意を抱いた。

○福島県下郷町

- ・官民一体で取組み成功を収めていることに感心し、行政が本気で取り組んでいる姿が印象に残った。
- ・初めて1年ほどなのでもう少し状況を見ないと本当の効果は分からないと思う。箕輪町は大型店が多いので、個人商店との兼ね合いを考える必要がある。
- ・行政の全面的支援が必要であるが、商店街のシャッター街化防止のためにも当事業の導入を働きかける必要があると感じた。
- ・町長、議長、商工会長それぞれが町の将来に対する危機感を共有し、同じ方向を向いての取組が感じられた。